

事業区分
物的給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		寝たきり高齢者介護慰労				所管	福祉部 高齢福祉課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 1 5 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区寝たきり高齢者介護慰労事業事業実施要綱				
	事業対象	要介護4以上の寝たきり高齢者を在宅で常時介護している家族等						
	事業目的	寝たきり高齢者を在宅で介護している家族等に対して慰労品を支給し、介護者の肉体的・精神的疲労を癒し、もって在宅福祉の向上を図る						
	事業内容	要介護4以上の寝たきり高齢者を在宅で常時介護している家族等に対し、申請に基づき年度に1回、マッサージ券または食事券の支給を行う。						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	交付人数	人	220	165	167	197	
	成果指標							
	決算額	(単位：千円)			474	459	545	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			532	760	794	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			474	459	545	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			1,006	1,219	1,339	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源(区負担額)			1,006	1,219	1,339		
前回評価から改善した事項	他の給付事業申請のために窓口に来所した方で、本事業の対象であった場合に、あわせて本事業の案内を行うなど、利用者増につながるよう努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	重度の介護が必要な高齢者の在宅生活を支えている家族に対する慰労として、本事業の必要性が高い。					
	効率性	3	申請時、その場で審査し、支給の可否を決定しており、効率性は高い。					
	手段の適切性	3	利用者の利便性を高めるため、利用券や食事券の形で給付を行っており、給付方法として適切である。					
	目的達成度	4	交付人数は増加しており、目標を達成している。今後も必要な方が利用できるよう、周知を行っていく。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
利用券・食事券の交付人数は増加傾向にある。今後も本事業の実施を通じて、高齢者の地域での在宅生活を側面から支援していく。					維持			